

3 埼玉県の求める県職員像

人材開発の目標となる、埼玉県の求める県職員像は次のとおりです。

**生き生きと働き、自らのスキルを高め、
新たな課題に主体的かつ果敢にチャレンジし、
成果を生み出す職員**

職員に求める重要な姿勢や能力は次の3つです。

① 県民目線で県民の声を実現する。

「現場主義」で県民の声に耳を傾けニーズを把握し、県民の声に心を寄せて課題解決手法を考え、スピード感を持って課題解決に取り組む。

② 成果を最大限重視し、実行する。

持続可能な発展・成長を続けるため、経営感覚を常に意識しながら、知恵を絞り、最も効果的な手段を検討・選択し、実行する。

③ 働き方の変化等に柔軟に対応し、職務を遂行 する上で自ら必要な知識・技術を身に付け 成長できる。

T X*の推進による業務変革など、これまでにない変化に対応できるよう、スキル向上に積極的に取り組み、職務に生かす。

* T X（タスク・トランスフォーメーション）

デジタルを前提に人と機械が行うタスクを仕分け、職員の力を人がやるべき業務に振り向け、県民サービス向上と業務効率化を実現すること。